

ProMED-mail情報 2017年 5月版

ProMED-mail <http://www.promedmail.org/> の記事から、感染症業務関係者の皆さまにピックアップ記事を紹介します。FORTH (厚生労働省検疫所の情報提供サイト <http://www.forth.go.jp/>) に掲載されるものは省略しています。

編集：厚生労働省福岡検疫所

掲載日	表題	概要
30日	狂犬病 米国	バージニア州保健局がヒトの狂犬病症例を調査。患者はインドでイヌに咬まれたが4月の帰国後も加療せず、5月7日に診断。およそ6週間の潜伏期間。米国での狂犬病患者は年に1~3例と稀で、2006年以降28例が確認。うち8例が国外での感染。直近の症例は2009年で、インド旅行中にイヌに咬まれた。海外渡航者は、事前にワクチンやその他の予防法について医療機関に確認が必要。
30日	黄熱 ブラジル	ブラジルでは、2016年12月の大流行の開始以来2017年5月18日までに、3192例の黄熱疑い患者について758例が診断確定され、1812例が否定、622例が調査中。死亡確定例は264例で致命率(CFR)は34%。
23日	原因不明の疾患 リベリア	WHOは原因不明とされていたリベリアにおける急性の疾患と突然死の病因が、髄膜炎菌性髄膜炎であったと報告。PCRにて血清型Cと確認。新たな症例や死亡は認められず、2017年5月19日時点で、Sinoe郡(27例、10例死亡)、Montserrado郡(2例、2例死亡)、Grand Bassa郡(2例)など合計13例の死亡(死亡率42%)。
19日	マラリア 南アフリカ	クルーガー国立公園(KNP)は行楽客に蚊刺への対策を講じるよう呼びかけ。2017年は降雨量が多く症例が増加。KNPは流行地域のひとつ。リンポポ保健省は数人のマラリアによる死亡者を確認。広報担当者によればマラリアの死亡率は1%と推定。
15日	アニサキス症 ポルトガル	32歳男性が腹痛、嘔吐、発熱のため病院を受診し、直前に食べた寿司の中のアニサキスが原因。これまで症例はほとんど日本で確認されていたが、西側諸国で寿司が人気となる中、生魚の中にあるこの寄生虫の感染症の患者が増加。魚肉の内部温度が63℃になるまで加熱することを推奨。-20℃以下で7日間冷凍するか、-30℃で凍結後に-20℃で24時間保冷することでもアニサキスは死滅。
13日	ハンタウイルス肺症候群 チリ	チリのプエルト・モント市のクエマス地区で、33歳女性がハンタウイルスに感染し、死亡。この地区では11人が確認され2人が死亡。またアラウカ地区でも52歳女性が確認、重篤な状態で入院中であり、人工呼吸器を使用。ハンタウイルスのアンデスウイルスはチリで流行していて、ヒト-ヒト感染は稀でありネズミから感染。
13日	ラッサ熱 ナイジェリア	各地で発生中のラッサ熱でナイジェリア保健当局(NCDC)は2016年12月の流行開始から4月28日までに68例を報告。流行は16の州で少なくとも1例以上の確定患者。4月末現在も活動性が続いているのは9州。164の報告例中149例が確定。
12日	サルモネラ症 米国	モンタナ州では庭先で鶏を飼育する家庭が増加。Great Falls郡保健当局は疾病予防のため、生きた家さんの取り扱いに十分注意するよう呼びかけ。Cascade郡で最近発生した2件は雛の不適切な取り扱いが関係。2016年全米で895人の患者が発生し、209人が入院、3人が死亡。州内でも15人が感染。妊娠女性、高齢者、慢性疾患のある人など、幼児や免疫系の弱い人は感染のリスクがより上昇。
8日	クリミア・コンゴ出血熱 パキスタン	クリミア・コンゴ出血熱疑いでクエッタの病院に入院中の患者が6日に死亡しパロチスタン州内での感染拡大が懸念。患者は2日前に搬送。パキスタン国内で2017年に合計11例の感染が報告され、4例は回復し、確定2例と疑い1例が死亡。5例は診断が下されないまま退院。初めてウイルス感染が報告された1976年にはあまり流行しなかったが2000年までに増加し、パロチスタン州の死者は累計91人に到達。
7日	チクングニア熱 パキスタン	カラチの公立および私立病院で多数のチクングニア熱患者が報告。WHOのチームは、保健当局を支援し首都での蔓延を阻止するためカラチに到着。シンド州政府は都市の急速に拡大に対抗するため支援を求めている。シンド州政府病院に39例、サウダバード病院に18例が検査で陽性。パロチスタン州は2017年4月19日時点で1962例の患者を報告。28件の血液検査で陽性。シンド州では今も患者が増加。
6日	ポリオ シリア	東シリアのDeir al Zourでポリオ疑い患者15人が確認。ISの支配地域であるため検査で確認されず臨床診断のみ。2016年7月からポリオワクチン接種活動は停止。WHOは2013年に数十のポリオ患者を報告。
2日	広東住血線虫症 米国(ハワイ)	ずっと以前からブナ(ハワイ)に存在するネズミの肺病にマウイの住人と本土からの2人の旅行者が感染。1945年から2010年に世界で3000例の報告があり、その大部分がタイと中国。2017年4月28日、新たに2例が確認され、合計13例。ハワイのネズミ(終宿主)の90%、ナメクジ(中間宿主)の70%が感染。
1日	食中毒 米国	米国における食中毒の原因第一位はサルモネラではなくキャンピロバクターであると2017年4月20日にCDCが発表。2016年10の州で24000例の食中毒が発症し、死者98例。サルモネラは厳格な規制と鶏のワクチン接種により減少。